

森林やまがた

No. 49

2001 4月



鳥海山：余目町小出沼より望む

目次

鳥海山	1
平成13年度	
森林課の主要施策	2
緑の中で、緑とともに	4
森林インストラクターの活動について	5
県の出先機関が変わります	6
現地ルポ	
中山町の交流センターで木とのれあい	7
平成13年度の研究開発と研修計画	8
春の緑化行事ご案内	9
山形県の名水・湧水	10
山形県の古木・名木	10
「緑の募金」について	11
山火事注意	12
木材市況	12



第53回全国植樹祭

感じていますか 森があるしあわせ

平成十三年度 森林課の主要施策

森林の多様な機能を持続的かつ高度に発揮させるためには、森林資源を健全に保つための森林整備と、これを支える林業・木材産業の振興や山村地域の活性化を図ることが重要です。

このため、平成十三年度は、

本県の農林水産業と農山漁村の総合的、長期的な振興方向を示した『山形県農林水産業振興計画』の施策体系に沿い、「県産木材の循環利用」と「森林の多様な機能の発揮」を主要課題として、次の諸施策を展開していきます。

一、誰にも信頼される食料等の安定的な生産と供給
人や環境にやさしい木材を利用することは、資源循環型社会

の形成に貢献するとともに、森林の整備や、山村の振興にもつながることから、県産木材の地産地消と生産体制の整備を推進していきます。

◇資源循環型森林施業団地化モデル事業
健全な森林の整備のため、

間伐施業と葉付き乾燥材の生産と搬出を効果的に進めるため施業の集約化、生産基盤の整備を重点的に行なう団地を設定し、林業生産活動の活性化を図ります。

◇間伐利用推進流通安定化総合対策事業
公共土木事業等に間伐材の利用を促進するとともに、間伐材製品の供給体制の整備と

間伐材の新たな用途開発を進めていきます。

◇やまがたの木で家づくり推進事業
県産材を利用した木造住宅の普及拡大を図るため、住宅

関連業種が連携して行なう木造住宅のPR活動等に対して助成します。

◇森林研究研修センター試験研究
健全な森林資源の維持管理

と山村地域の所得の向上のため、森林整備・管理技術の開発や木材加工技術等の研究などをを行います。

◇林道事業
効率的な林業経営と山村地域の生活環境の整備を図るため、市町村、関係機関と連携しながら、林道の開設・改良等を推進します。

二、農林水産業に携わる人々の豊かな暮らし
森林を適正に管理・経営する

ため、意欲のある林業経営・事業体等の育成を図るとともに、

特用林産物を取り入れた複合経営を推進していきます。
また、森林・林業の担い手である林業従事者の確保に向けた取り組みを推進していきます。

◇林業担い手育成強化対策事業
林業経営体・事業体の経営

基盤の強化と林業労働力の確保を図るため、林業労働力確保支援センターを通じて、技術研修や労働安全衛生対策等を推進します。

◇やまがた特用林産振興対策事業
特用林産物の生産振興を図るため、生産団体等が実施する生産施設等に対して助成するとともに、一層の需要拡大を図るため、料理研修会、調

理実習、展示即売会等を開催
します。

三、一人一人が安心して心豊かに暮らせる環境づくり

◇暮らせる環境づくり

森林の持つ多様な機能を持続的かつ高度に発揮させるため、治山事業や造林事業等による健全な森林整備を推進するとともに、安心して豊かに暮らせる山村づくりを進めていきます。

また、平成十四年に開催される「第五十三回全国植樹祭」に向けて、県民参加の森林づくりの輪を広げていきます。

◇全国植樹祭開催準備事業

会場整備などの準備業務を計画的に進めるとともに、記念行事や記念事業を展開しながら、県民参加の森林づくりを推進します。

◇遊学の森整備事業

森林と人との共存を基本理

念とした「遊学の森」を計画的に整備するため、広場の造成や修景施業、連絡道等の整備を行いません。

◇やまがたの森林づくりボランテニア推進事業

県民参加の森林づくりを推進するため、ボランテニアの活動支援や組織化の推進、森の案内人の養成等を進めます。

◇ふるさとの森林オーナー推進事業

森林とのふれあいに対する県民の関心の高まり等に対応するため、オーナー制による森林の利活用を進めます。

◇森林計画樹立事業

森林資源の適性管理と計画的な森林施業を推進するため、置賜地域森林計画の策定を行いません。

◇間伐実施推進事業

公益的機能の高い健全な森

林の育成と、間伐材の利用促進を図るため、二十六年生から五十年生までの間伐事業を引き続き実施します。

◇緊急間伐実施総合対策事業

緊急に間伐が必要な森林について、間伐を行なう市町村に対して助成します。

◇山形県森林・林業・木材産業振興施策検討事業

平成十三年度から十年間の具体的な整備目標やその実現手法を盛り込んだ森林整備計画を策定します。

◇造林事業

多様な機能を発揮させる森林の整備を推進するため、市町村等が行なう造林事業等に対して助成します。

◇里山景観づくり事業

道路沿いや森林公園の周辺等の森林で、不良木、不用木の除去等を行ない、里山景観

の美化を図ります。

◇治山事業

山地災害を防止し、県土の保全や水資源のかん養等、公益的機能の向上を図るため、治山事業を引き続き推進します。

◇森林病虫害防除事業

森林病虫害の駆除や松くい虫被害跡地の機能回復を図るとともに、海岸林を中心とした松林の保全の徹底を図ります。

◇林業構造改善事業

特用林産物の生産に必要な施設等の整備等について助成します。

以上のような諸施策の推進にあたりましては、皆様方のご理解とご協力が不可欠でありますので、一層のご支援をお願いします。

〔県森林課〕

活動の少年報告



緑の中で、緑とともに

中川小学校緑の少年団

五年 伊藤 藤 浩 子

私たち中川小学校みどりの少年団は、一年生から六年生まで二四六人でいろいろな活動をしています。

まず、四月に一年生の入団式をします。一年生の代表が上級生からベレー帽をかぶらせてもらいます。そして、スカーフを結んでもらって、バッジをつけてもらいます。これが私たちの活動の始まりです。

私たちの大きな活動は、畑での野菜作りと田んぼでの米作りです。

畑で作る物は、学年によって違います。ミニトマト、サツマイモ、とうもろこし、ヘチマ、大根、じゃがいもなどの野菜で



入団式で初めて帽子をかぶりしました。

す。ほかに、ひょうたん、オシロイ花、アサガオ、ひまわり、マリーゴールドなども育てます。とれた野菜で、学年毎に収穫祭をします。カレーライス、サラダ、スイートポテトなどいろいろ作って食べます。きゅうりやトマトは、畑で取って生で食

べます。

私は、五年生なので、今年は米作りをしました。やってみて楽しかったのは、田植えです。田んぼのどろの中に手を入れる

と、なまあたたくくていい気持ちでした。私は、いっぱいみものといいなと思いました。秋になって、稲かりをしました。かまでかると、ざくつといい音がしておもしろかったです。収穫したもち米は、なつとう、きなこと、ぞう煮もちにしていっぱい食べました。

三年生は、中川福祉村のみんなといっしょに蔵王山の清掃に行きます。私が三年生の時は、たばこのすいながらや空缶をひろいました。でも、思ったよりなくてよかったです。

今年、六年生は山元であった県育樹祭に参加しました。それから、希望者が坊平つつじ記念



かまで刈った稲を、わらでたばねます。

植樹やブロック交流研修会に参加しました。ブロック交流研修会に参加した人は追跡ハイキングが楽しかったそうです。

また、私たちは全校で緑の募金活動をしました。委員会で募金箱を持って教室をまわり、お金を入れてもらいました。

私は、春に花の芽が出てくるとうきょうきして、うれしくなってきました。花や木々の緑を大切にして、ずっと残していきたいです。

森林インストラクターの活動について

森林インストラクターは、森林を訪れた一般の人が、森林の中での様々な活動を通して、森林や林業についての学習をする際のお手伝いをするものです。

現在森林をフィールドとする野外活動の資格は様々なものがありますが、森林を単なる「背景」とせず、生態から利用までを網羅した活動を行っているのは森林インストラクターだけです。

☆ ☆ ☆

この資格は平成二年度に創設され、農林水産大臣の許可により、社団法人全国森林レクリエーション協会が審査と登録を行っているようです。年一回行われる資格試験は、一次が森林、林業、野外活動、安全の四科目についての筆記試験、二次が実技試験

です。全国で毎年二百人ほどが合格していますが、山形県からも二、三人が合格しており、平成十三年三月現在で二十二名の有資格者がいます。

☆ ☆ ☆

県内の森林インストラクターはプロもいればアマチュアもあり、活動している地域や得意分野も様々です。そこで、県内有望資格者の親睦と互いの技術向上を図るため、平成七年に「山形県森林インストラクター協議会」を設立しました。協議会は、年一回の総会で決定される年間の活動計画に沿って運営されています。その活動内容は、様々な活動養成への対応、会員が企画・運営する自主事業の実施、

技術向上のための研修会の開催、会報の発行などの情報交換、全国森林インストラクター会との連絡調整などです。

☆ ☆ ☆

特に、技術向上の場としての自主事業には力を入れており、県内各地区の会員の輪番制で地域の特性や担当会員の特技を生かしたユニークなイベントが開催されます。県内二巡目に入った平成十二年度は、山形地区の担当で県民の森を会場に開催され、三十数名の親子が秋色の森に触れながら、思い思いに森の恵みを体験しました。

☆ ☆ ☆

参加者の募集から会場準備、安全対策まで休日や本来の業務の時間外を使つての活動ですが、参加者の反応を直に得られる貴重な場でもあります。



近年、一般の人々の間にもアウトドア指向が定着するとともに、森林・野外活動を体験したいという要求も高まっています。森林インストラクター制度も設立から十年以上が経ち本部でも活動強化策が検討されていますが、山形県森林インストラクター協議会もこうした動きに対応し、地域に根ざした森林・野外活動の充実を図っていくことにしています。

〔森林インストラクター協議会事務局〕

県の出先機関が変わります

～平成13年4月1日から「総合支庁」がスタート～

総合支庁設置でこうなります

《総合的な行政》

①行政の各分野にまたがる課題が増えていきます。限られた財源を有効に使い、関係部門がよく相談して進めます。

一般道路だけでなく、農道や林道も含めた道路ネットワークづくり



農業と連携した観光振興



②市町村との連携を深め、県民の皆さんの意見や要望にこたえ、住みやすい地域づくりを進めます。



《現地即決体制》

今までは

これはいつ許可が出されますか？



県庁で決裁するので出て返ってくるまで4週間かかります。

これからは

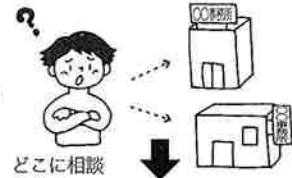
ずい分早くなったね。



総合支庁で決裁するので2週間で処理します。

《総合案内窓口》

今までは



どこに相談したらいいの？

これからは



ここに来ればいいのね。こちらにどうぞ。

迅速に対応願います。



わかりました。

総合支庁の名称と所管区域



これからは

総合支庁

↓

森林整備課

今までは

庄内支庁

↓

経済部

↓

林業振興課

↓

地方事務所

↓

林業振興課

現地ルポ

中山町の交流センターで
木とのふれあい

中山町では木材流通合理化整備特別対策事業で、地域材をふんだんに使用した二つの交流センターを建設しましたので紹介します。

一、中山町東部地区多目的交流センター（大字長崎地内）

当センターは木造平屋一部二階建て、延床面積二百三十五㎡、事業費四千九百万円です。

工事の設計監理を担当した飯野設計事務所の飯野さんが、もつと住民に「木」や「建設職人の仕事」に親しみ、完成前からセンターに愛着をもってもらうと、建築中からセンターを紹介する建設だより「かわらばん」を発行、また見学会なども実施しました。



中山町東部地区多目的交流センター

「かわらばん」は5号まで発刊され、導入事業の紹介、林業豆知識、材料となる木材の産地紹介など多岐にわたっており、見学会では屋根の野地板の柿渋塗りを地元長崎小の生徒らと実施しました。

センター内部も梁が直接見えるので迫力があり、木の持つやさしさと強さを実感できます。

玄関から入ると、正面には西川町産のスギ（樹齢百年生）のふとい柱（丸太使用）と梁が目に入ります。広いロビーには伐根を加工したベンチ等が置かれ、地区住民の団欒の場となることでしょう。

和室は大広間といってもふさわしい五十二畳で、中間から仕切れるようになっています。造りは純和風となっていて、非常

二、岡地区文化交流センター

（大字岡地内）

当センターは木造平屋建て、床面積三百二十四㎡、事業費五千九百万円です。

岡地区は県指定文化財柏倉家住宅、最上三十三観音十四番札所、岡千手観音堂など伝統的建造物等で町並みを形成しています。その景観と調和させるため、民家造りの建物になっています。

に落ち着いた雰囲気を出しています。

これからは、古代雛等の展示、田植え踊り等の民俗芸能の場として、また、地区住民のコミュニケーション施設として、利活用されるようになります。

最後に

木造のもつあたたかさが、地区住民の交流の和となることを期待します。

〔村山総合支庁産業経済部森林整備課〕



中山町東部地区多目的交流センター

県森林研究研修センターからのお知らせ 平成十三年度の研究開発と研修計画

◆研究開発◆

発を行います。

センターの研究開発は「山形

県農林水産業に関する研究開発

推進要綱」や「山形県科学技術

政策大綱」に基づきおこなわれ

ています。

今年度の主な研究開発は次の

とおりです。

一、きのこ・山菜の優良品種の

開発と栽培技術の確立

市場性の高い優良系統を探索

選抜するとともに、効率的な生

産技術の改良開発を行います。

二、県産材の用途を広げるため

の技術開発

県産スギ中小径材の利用拡大

をはかり、自然景観保全に適し

た資材を供給するため県産スギ

丸太類を利用した屋外資材の開

三、木質資源の循環利用技術の

開発

産業廃棄物として処理されて

きた公園や街路樹等の剪定枝や

不用木を資源として活用する

四、森林の多面的機能の維持・

増進技術の開発

森林機能の維持増進をはかる

ため多様な森林の整備にむけた

森林造成管理技術を開発すると

ともに、庄内海岸マツ林の早期

復旧技術の開発を行います。

五、森林被害防止技術の確立

森林の生物による被害が増大

し、保護管理の重要性が強く求

められていることから被害防止

技術の開発を行います。

六、花粉アレルギー情報提供シ

ステムの開発

県では平成十二年度から花粉

アレルギー情報を提供するため

のシステム開発に取り組んでい

平成13年度研究開発課題

課 題 名	研究期間
施設栽培きのこの育種と安定栽培技術の確立	H11~15
山間地における山菜・きのこ栽培化の検討と増殖技術の開発	H10~14
ニュータイプきのこ資源の利用と生産技術の開発	H 8~13
県産スギ丸太類を利用した屋外資材の開発	H12~16
県産材の高機能性付与技術の開発	H 9~
木質材料の循環利用技術の開発	H12~16
長期育成循環施業に対応する森林管理技術の開発	H11~15
多様な広葉樹林の育成・管理技術の開発	H12~16
松くい虫被害跡地における海岸防災林の早期復旧技術の確立	H 9~13
マツノザイセンチュウ病抵抗性個体の選抜	H 7~14
昆虫を指標とした里山広葉樹林の評価手法及び管理手法に関する調査	H12~16
花粉アレルギー情報提供システムの開発（衛研・農試との共同研究）	H12~14

平成13年度研修・講習計画

項 目	時 期	募集人員	摘 要
伐木造材機械	5月16日~18日	20名	
林業架線	6月7日~23日	20名	労働基準局
車両系建設機械	7月5日~13日	20名	指定教習機関
車両系安全衛生教育	2月予定	20名	
フォークリフト安全衛生教育	2月予定	20名	
林業教室専門コース	8月予定	20名	森林保護
	12月予定	10名	特用林産

◆研修・講習計画◆

林業従事者・後継者を対象に

労働安全衛生法に基づく特別

教育技能講習、林業教室等の

開催を計画しています。

ますが、共同研究機関としてス
ギの生理生態的特性の解明や分
布調査などの研究を行います。

春の緑化行事ご案内

春の緑化強調期間 4月23日から5月31日まで

緑の募金運動 街頭キャンペーン

とき：4月23日 ところ：山形市七日町通り・山形駅前他

オープン 4月29日

県民の森

●オープンイベント 4月30日

主なプログラム

- 森の工房&森の案内無料体験
- 緑のオークション
- 緑のプレゼント 西洋シャクナゲ
- 緑化樹・草花・林産物即売会

オープン 4月10日

眺海の森

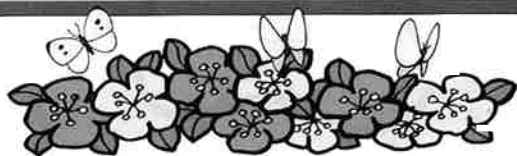
●オープンイベント 4月29日

第1回森林教室

- ウォークラリー ○木工クラフト
- 苗木プレゼント ブルーベリー

第53回全国植樹祭記念行事
庄内地方植樹祭 5月23日 13:30～

- 記念植樹 眺海の森
- 一般植樹 山寺農村公園
- 緑のプレゼント ヒメコブシ



源流の森

オープン 4月29日

第53回全国植樹祭記念行事 (平成13年度山形県植樹祭)

プレ植樹祭 “森のくに宣言祭” テーマ：みんなが森林の応援団

6月2日(土) 9:30～16:00

- 1万人記念植樹 代表植樹
- 知事「森のくに宣言」
- 緑の図書・校庭樹贈呈
- 森のホームステイ
- 緑のプレゼント
- 午後から楽しいイベント盛りだくさん

6月3日(日) 9:30～16:00

- 森のコンサート 森のクイズ大会
- 草木ぞめ・クラフト・陶芸体験
- プロジェクトアドベンチャー体験
- 炭焼き体験 森づくり体験
- 国土緑化運動ポスター展

緑のプレゼント会場のご案内

地区	会場	期日	時間	配布樹種
村山	山形市役所西側ピロティ	4月27日	10:00～	ツバキ
	天童市役所前広場	4月29日	10:00～	西洋シャクナゲ
	県民の森中央広場	4月30日	13:00～	西洋シャクナゲ
	寒河江市チェリーランドイベント広場	6月17日	10:00～	未定
置賜	米沢市中央多目的広場	4月27日	11:00～	アザレア
	川西町フレンドリープラザ	4月 日	10:50～	未定
	長井市市民文化会館前広場	4月27日	12:00～	サルスベリ
最上	最上町最上中学校駐車場	5月3日	9:00～	サクラ・ウメ・ドウダンツツジ
	酒田市万里の松原	4月22日	6:00～	夏椿(夜明前)
庄内	眺海の森	5月23日	未定	ヒメコブシ
	藤島町町民体育館	5月12日	10:00～	ツツジ他

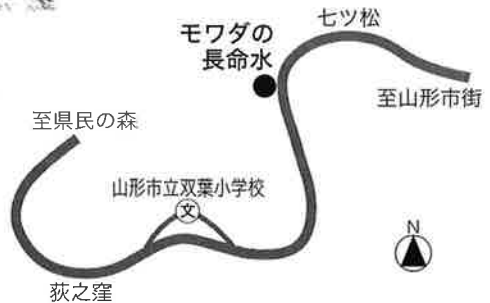


山形県の名水・湧水⑱

モワダの長命水

山形市大字門伝字七ツ森

案内図



天平5年行基菩薩が奥羽地方巡錫のおり、十一面観音菩薩像を刻んで安置し、七ツ森観音堂が創建された。その時、村人がこの地は飲む水が少なくて困っている事を聞いた行基菩薩は、錫杖のついた杖を差し込んだところ、そこには綺麗な水がこんこんと湧き出てきたではありませんか。あの水を飲むと長生きすると言う話が広まり、いつしかモワダの木の側にあったことから、モワダの「長命水」と言うようになった。
(山形県森林協会)



山形県の古木・名木⑳
羽黒山のスギ並木

出羽三山神社社務所前の随神門から山頂の三山合祭殿にいたる一・七kmの石階参道の両側に立ち並ぶスギの並木で、いずれも直幹で最大のものは胸高直径一・三mを超え、一m以上のものが百四十株、総数五八五株であったが、指定後数次の台風で失われたもの

が数十株を数える。羽黒山中興の祖、天宥別当(一六〇六〜一六七四)の業績にはじまるものと伝えられている。昭和二十六年六月天然記念物の指定を受け、昭和三十八年八月特別天然記念物に指定された。

〔山形県森林協会〕

**2001年ボランティア国際年・
緑の募金で森林の世紀を開こう!**

皆様の善意による寄付金は、緑の募金法に基づき、学識経験者で構成される運営協議会で審査され、森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力に取り組みボランティア活動支援のため、大切に活用されます。

募金の呼びかけは、春の新緑シーズン（四〜五月）と秋の紅葉シーズン（九〜十月）に、(財)山形県みどり推進機構、地区林

☎023-688-6633

(財)山形県みどり推進機構
山形市大字長谷堂
字馬場二二六五

業振興協議会、各市町村林務主管課、緑の少年団、小中学校が行っていますので、ご協力をお願いします。

「緑の募金」に関するお問い合わせは

**「緑の募金」について
ご協力をお願いします**



環境を守ろう

災害に強い県土を
良質な水の安定供給を
緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう

山村の生活環境の整備を
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会

山形市桜町2-35(林業会館内)
電話(023)632-3893 FAX(023)632-5454

信頼の森林づくり

地域に根ざした豊かな森林をつくります
いろいろな森林体験ができます

財団法人 山形県林業公社

山形市緑町一丁目9番30号
TEL 023-623-3505



山火事注意！ 『育てたい山へのマナー 火の始末』

実施期間 平成13年4月23日～5月31日

原因の半数は「たき火」

昨年の林野火災発生件数は二十三件、焼失面積五畝、損害額四百八十万円と、前年に比べ件数、面積は減少しましたが、損害額は約二倍に増加しました。

火災原因の半数は「たき火の延焼」で、以下「たばこの投げ捨て」、「ゴミ焼却の延焼」等となっており、発生月では、四月五月の春季と八月の夏季に集中しました。

広報活動を行います

林野火災は瞬時に貴重な資源を奪い、失われた森林を取り戻すには、多くの時間と人手や経費を必要とします。

火災原因の殆どは人為的なものであることから、今年も県内

各地区の関係機関が連携し、山火事防止の啓発活動として、広報車による呼びかけ、新聞や広報誌での文書掲載、ポスターの掲示、のぼり旗や横断幕の設置等を行います。

一人一人の心がけて貴重な森林資源を守りましょう。

〔県森林課〕



山火事状況（南陽市）

木材市況

（三月一日現在）

素材	樹材種	材長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較		
	スギ小丸太	3.65~4.00m	込	12,000円	+100		
スギ中丸太	//	//	16,600円	+300			
スギ大丸太	//	//	19,400円	+100			
材	米マツ中丸太	6.0m~	普通材	19,500円	+200		
	米マツ大丸太	//	//	23,500円	0		
	北洋アカマツ中丸太	3.8~	//	17,400円	+700		
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較
	スギ柱	10.5cm	10.5cm	3.00m	特等	61,000円	+700
	米マツ柱	10.5cm	10.5cm	4.00m	//	58,700円	-500

森林やまがた4月号 平成13年4月1日発行 通巻第49号

編集 山形県森林協会 山形県
 発行 山形県森林協会
 〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
 TEL 023-631-6566 023-622-8823
 FAX 023-631-6573

印刷所 渡辺活版所 定価 一部二〇円